

株式会社エディオン

2023年3月期 第1四半期決算補足資料



2022年8月3日

連結損益計算書

百万円・%	2022年3月期 1Q			2023年3月期 1Q			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高		165,081	94.2		164,854	99.9	▲227
売上総利益	30.36	50,112	95.0	30.71	50,634	101.0	521
販売管理費	28.9	47,656	100.9	28.8	47,512	99.7	▲143
広告宣伝費・販売費	7.1	11,753	93.1	6.8	11,204	95.3	▲549
人件費	12.0	19,775	102.9	12.0	19,862	100.4	87
設備費・その他管理費	8.0	13,254	104.0	8.4	13,793	104.1	539
減価償却費	1.7	2,873	108.8	1.6	2,652	92.3	▲221
営業利益	1.5	2,456	44.4	1.9	3,121	127.1	665
営業外収益	0.2	393	143.0	0.2	345	87.7	▲48
営業外費用	0.2	266	76.0	0.3	493	185.1	227
経常利益	1.6	2,583	47.3	1.8	2,973	115.1	390
特別利益	0.0	50	4,545.7	0.1	244	484.2	193
特別損失	0.1	189	28.2	0.0	31	16.6	▲157
税金等調整前当期純利益	1.5	2,444	51.0	1.9	3,186	130.3	741
法人税等合計	0.4	707	40.6	0.6	1,015	143.5	307
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.1	1,737	57.0	1.3	2,171	125.0	433

業績サマリー

売上高

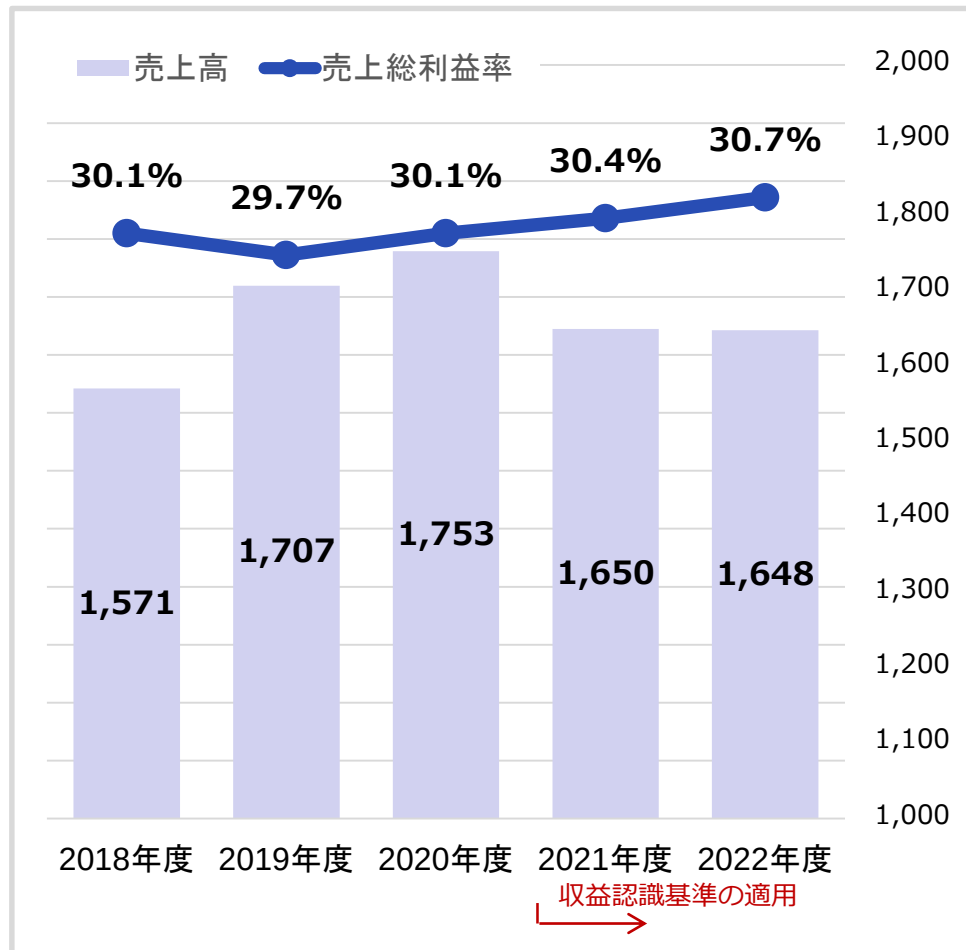
- 売上高実績 1,648億円 前期差 △2.2億円（前期比 99.9%）
- 既存店前期比 99.9%（4月-6月 POS受注売上ベース）
前年第1四半期 緊急事態宣言による休業要請の影響（最大93店）

当期利益

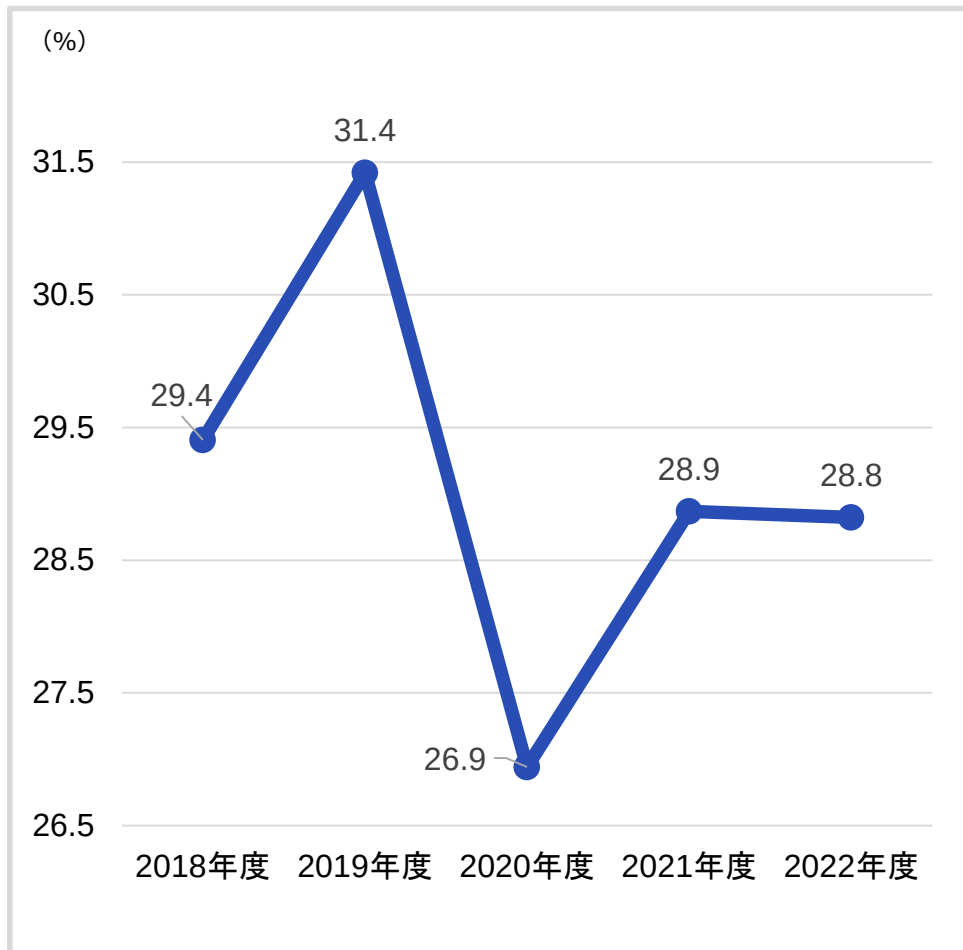
- 売上総利益率 当期実績 30.71% 前期差 +0.35%
売上高減少による売上総利益金額影響 △0.6億円 売上総利益率増加による影響 +5.9億円
- 販売費及び一般管理費 当期実績 475億円 前期差 △1.4億円
 - 広告宣伝費・販売費 △5.4億円
 - 人件費 +0.8億円
 - 設備費・管理費 +5.3億円
 - （光熱費 +2.8億円、賃借料 +3.2億円、オープン消耗品費△1億円）
 - 減価償却費 △2.2億円（のれん償却 △1.1億円 その他 △1.1億）
- 営業外収益
 - コロナ関連等助成金収入 21百万円

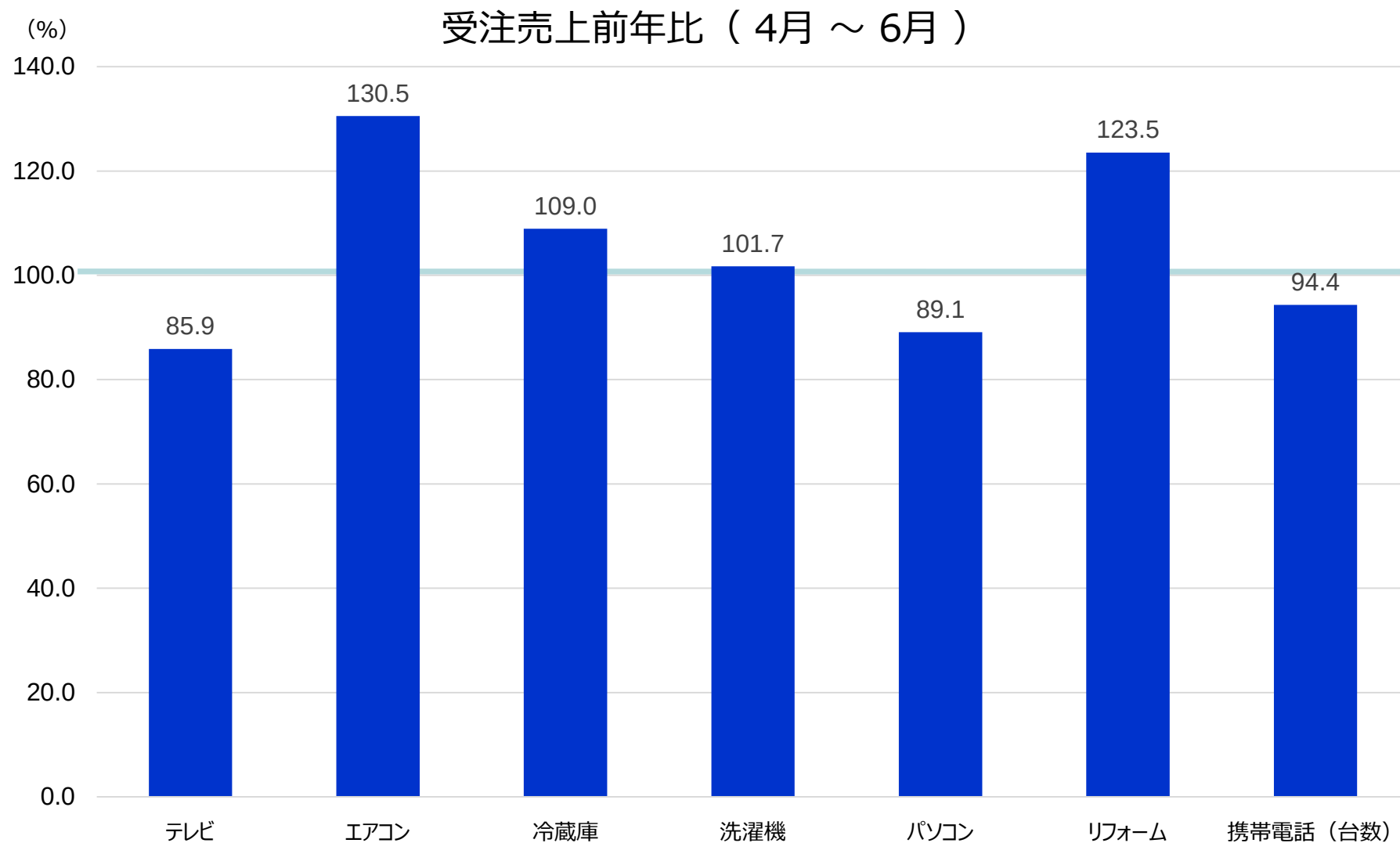
売上総利益率・販管費率推移

1 売上高および売上総利益率



2 販管費率





連結貸借対照表および連結キャッシュフロー計算書

連結貸借対照表

(百万円)

	2022年3月末	2022年6月末	増減
流動資産	190,597	199,298	8,701
有形固定資産	125,504	125,447	▲57
無形固定資産	10,169	9,807	▲362
投資その他の資産	51,699	50,753	▲945
固定資産	187,373	186,008	▲1,364
資産合計	377,970	385,307	7,337
流動負債	109,003	116,175	7,172
固定負債	69,486	69,686	200
負債合計	178,489	185,862	7,373
純資産	199,480	199,445	▲35
負債・純資産合計	377,970	385,307	7,337

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	前期1Q	当期1Q	増減額
営業CF	△21,084	402	+21,486
投資CF	△4,624	△1,980	+2,644
FCF	△25,708	△1,578	+24,130
財務CF	△3,520	△2,482	+1,038
現金及び現金 同等物 の期首残高	43,072	29,885	△13,187
現金及び現金 同等物 の期末残高	13,843	25,824	+11,981

- 流動資産 87.0億円減少
 - ・現金及び預金 40.6億円減少
 - ・商品 123億円増加（前期第1四半期比 ▲64.2億円）
 - ・在庫回転数 5.9回転（前年同期 5.9回転）
- 流動負債 71.7億円増加
- 固定負債 2.0億円増加
- 自己資本比率 前期末 52.8% → 当期1Q 51.8%

出店・移転・閉店実績

2022年6月末時点

■ 直営店出店の状況

開店月	都道府県	新規出店
4月	神奈川県	ホームズ川崎大師店
	大阪府	オアシスタウン吹田SST店
	神奈川県	ダイナシティ小田原店
	愛知県	ルビットタウン刈谷店

■ 閉店

閉店月	都道府県	移転前
5月	三重県	Auショッピングイオンモール鈴鹿店

■ 移転の状況

移転月	都道府県	移転前	移転後
5月	石川県	100満ボルト金沢東店	100満ボルト金沢高柳店
6月	大分県	別府店	トキハ別府店
6月	広島県	三原店	アクロスプラザ三原店

- 直営店舗4店舗、フランチャイズ6店舗 計10店舗を新設
(閉店：直営店舗1店舗 フランチャイズ3店舗)

- 移転 直営店舗3店舗

- グループ店舗数 計1,208店舗 (直営店舗：452店舗 フランチャイズ：756店舗)

- 面積：前期末比 +9,327㎡ 0.8%増加

百万円・%	上期		下期		通期			
	実績予想	前年比	実績予想	前年比	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	368,000	105.5	368,000	100.8	100	736,000	103.1	+22,232
売上総利益	112,000	105.5	104,300	100.7	29.4	216,300	103.2	+6,619
販売管理費	98,300	102.3	95,500	100.8	26.3	193,800	101.5	+2,915
広告宣伝費・販売費	24,605	101.8	23,063	102.1	6.5	47,668	102.0	+916
人件費	40,000	100.5	40,000	99.8	10.9	80,000	100.2	+123
設備費・管理費	28,512	107.8	27,235	104.3	7.6	55,747	106.1	+3,185
減価償却費	5,183	90.7	5,202	87.0	1.4	10,385	88.8	▲1,309
営業利益	13,700	136.9	8,800	100.2	3.1	22,500	119.7	+3,704
経常利益	13,700	122.3	8,800	84.7	3.1	22,500	104.2	+911
親会社株主に帰属する当期純利益	9,000	118.3	5,000	90.9	1.9	14,000	106.8	+891

●売上高

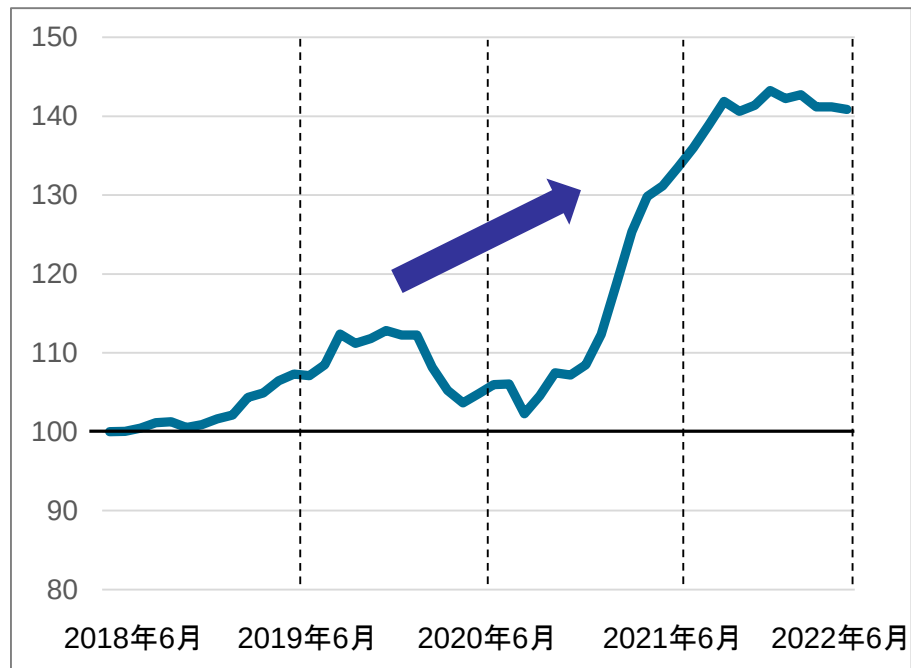
既存店前年比 上期 103.2% 下期 100% 通期 101.5%

新店 5店舗 移転改装 3店舗

●粗利率 昨年度から横ばいを想定

●経常利益 昨年度 助成金収入24億円あり、下期は前年を下回る予想

当社の携帯電話販売台数（12か月移動平均：2018年6月を100とした場合）



- ・全キャリア一次代理店 ※一部のエリア除く
- ・携帯コーナーの運営と専門ショップ運営

＜直営店＞
299店舗へ展開

＜専門店＞
ドコモショップ 15店舗、auショップ 5店舗
ソフトバンク 10店舗、楽天モバイルショップ 1店舗
UQスポット 1店舗

- ・物価上昇による固定費削減ニーズの高まりを受け、契約実績は好調に推移
- ・感染対策の徹底による安心の契約体制
- ・携帯コーナー非展開店舗での取り組み強化

2022年10月1日 システム子会社の再編

(存続会社：エヌワーク、消滅会社：Hampstead)

 株式会社 エヌワーク	
情報システムの運営および開発 ・ Web系ソリューション（EIPグループウェア） ・ Store系ソリューション（オープンPOSシステムハンディターミナル受発注システム）ほか	システム開発・デジタルマーケティング事業 ・ デジタルマーケティング ・ ファンビジネス（Jリーグ、プロ野球など）に関するシステム提供

- 
- ・ システム開発の内製化を進め一気通貫でスピーディーなシステム開発
 - ・ 採用基準や給与水準の見直しなどの制度変更を行い
I T ・ デジタル人材を国内外から積極的に採用できる組織体制の構築

「新たな購入体験」の提供を実現するためにDX化を推進してまいります



タイムアタック

予選

- 実施期間：8/10（水）、11（木祝）、12（金）、8/20（土）、21（日）の5日間
- 各日、上位（1位～3位まで）入賞者が本選出場権利獲得（合計15名が本選に出場）& 副賞進呈

①予選期間

8/10（水）、11（木祝）、12（金祝）、
8/20（土）、21（日）の5日間

②集計 期間中、実施ごとに集計

③予選通過者決定

- 実施期間：8/27（土） ■上位入賞者には、後日賞品を進呈 ■3グループに分けて2試合実施
- 出場者：予選通過者15名+インフルエンサー3名 <1グループあたり6名（プレイヤー5名+インフルエンサー1名）×3グループ>
上位入賞者（1位～5位）には副賞を進呈

①エントリー

参加者集合時間：現在調整中

②本選（ライブ中継）

8/27（土）16:00-18:00

③優勝者決定

■エディオンYouTubeチャンネルにて生配信

タイムアタック

本選

8月10日（水）

エディオンなんば本店がフォートナイトに！



■大会参加条件…アプリダウンロード、会員登録必須

"This event is not sponsored, endorsed, or administered by Epic Games, Inc."
本イベントは EPIC GAMES, INC. が主催、推奨、または運営するものではなく、また同社との関連もありません。
本イベントに関連してプレイヤーが提供する情報は、EPIC GAMES, INC. ではなく、イベント主催者に提供されています。

配当・株価推移

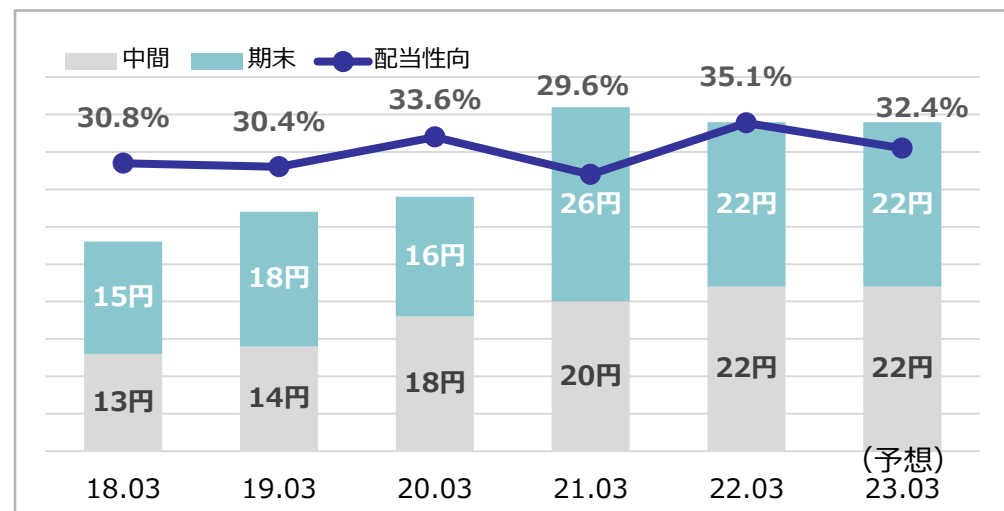
ROIC向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



取り組み強化

1 循環社会への取り組み

循環型社会の実現に向け、家電リサイクル法の対象である家電製品の適正な処理をはじめ、小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化などを積極的に取り組んでいます。



また、多様な人材が活躍できる場を提供するなど様々な側面から社会課題解決に向けた取組を推進しています。

2 健康経営の推進



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

エディオンは従業員の健康を重視し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。
経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」において、取り組みが優良であると認定されました。

3 ガバナンス向上に向けて

公平で公正な組織の運営を行うため、社外取締役5名、社外監査役3名を選任しています。

公正な立場から意見・助言を述べることで公平で公平な組織運営を行うための体制づくりを推進しています。

内部統制システムの運用を通じて、グループ全体のガバナンス強化および会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めています。

4 地域社会への支援



一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralympic Art®」に賛同し、2021年9月よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。

本協賛を通じて今後も地域社会との協調を図り、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



注意事項

- ・ 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- ・ 本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・ 本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われたいようお願いいたします。



2022年8月3日